

I 類 心 理 専 門 問 題

令和7年度施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は、番号1から6まで6題あり、このうち4題を任意に選択して解答してください。4題を超えて解答した場合は、番号1以降の解答数が4に達したところで採点を終了し、4を超えた分については採点しないので、注意してください。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間30分です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題を切り取ることは固く禁じます。
- 6 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

6題のうち4題を選択すること。

番号	問 題
1	<p>次の問（１）～（３）に答えよ。</p> <p>（１）自己効力感について説明せよ。</p> <p>（２）アウトリーチについて説明せよ。</p> <p>（３）次の説明文は、「共同注意」について説明したものであるが、誤っている語が3か所ある。誤っている語及び正しい語を解答用紙の（ ）に記入せよ。</p> <p>【説明文】</p> <p>人は、生後6か月頃には、他者の視線や声を追うようになり、他者と一緒にものを注目して見ることができるようになる。子どもは、母親、他者、ものを含む三項関係のなかで、他者の興味や関心を読み取ろうとするようになる。</p>
2	<p>次の問（１）、（２）に答えよ。</p> <p>（１）チーム学校について、次の問①、②に答えよ。</p> <p>①チーム学校について説明せよ。</p> <p>②チーム学校を実現するために必要な3つの視点を挙げよ。</p> <p>（２）スクールカウンセラーについて、次の問①、②に答えよ。</p> <p>①スクールカウンセラーの役割について説明せよ。</p> <p>②3段階の心理教育的援助サービスを挙げ、それぞれ説明せよ。</p>
3	<p>ストレスについて、次の問（１）、（２）に答えよ。</p> <p>（１）汎適応症候群について、次の問①、②に答えよ。</p> <p>①汎適応症候群について、提唱者名を挙げ、説明せよ。</p> <p>②3つの段階を、時間の経過の順に挙げよ。</p> <p>（２）コーピングについて、次の問①、②に答えよ。</p> <p>①ラザルス（Lazarus, R. S.）とフォルクマン（Folkman, S.）の認知的評価モデルについて説明せよ。</p> <p>②①のモデルにおけるコーピングを分類し、それぞれ説明せよ。</p>
4	<p>次の問（１）、（２）に答えよ。</p> <p>（１）ADHD（注意欠如・多動症）の定義と特徴について説明せよ。</p> <p>（２）素行症（素行障害）について説明せよ。</p>
5	<p>心理アセスメントに関する次の（１）～（３）について説明せよ。</p> <p>（１）知能指数</p> <p>（２）テスト・バッテリー</p> <p>（３）ロールシャッハ・テスト</p>
6	<p>行動療法について、次の問（１）～（３）に答えよ。</p> <p>（１）系統的脱感作法について説明せよ。</p> <p>（２）トークンエコノミー法について説明せよ。</p> <p>（３）モデリングについて、次の問①、②に答えよ。</p> <p>①モデリングについて説明せよ。</p> <p>②4つの過程を挙げ、それぞれ説明せよ。</p>